

M175 サカモト吸引シミュレーター



SAKAMOTO MODEL
CORPORATION

ユーザーズマニュアル (151218)

－ INDEX －

- はじめに／もくじ 1
- 目的／内容 2
- 取扱上の注意 3
- 使用手順 4
- 洗浄および片付けの方法 5

！
ご注意

商品到着時、すぐに本体と付属品を御確認頂き、不備、破損等ありましたら弊社または販売店まで御連絡頂けます様お願い申し上げます。

株式会社坂本モデル



こちらで動画をご覧くださいませ。→

はじめに

この度は弊社商品 サカモト吸引シミュレーターをご購入頂きまして、誠に有難うございます。

商品を長く正しくお使い頂くために本ユーザーズマニュアルをよくお読みいただきご使用下さいます様お願い申し上げます。

尚、商品出荷時製品の点検は十分に行っておりますが、商品到着時すぐ開梱し、本体及び付属品の不足、破損箇所等が無いか点検して下さい。

もくじ

はじめに／もくじ	1
目的／内容	2
取扱上の注意	3
使用手順	4
洗浄及び片付けの方法	5

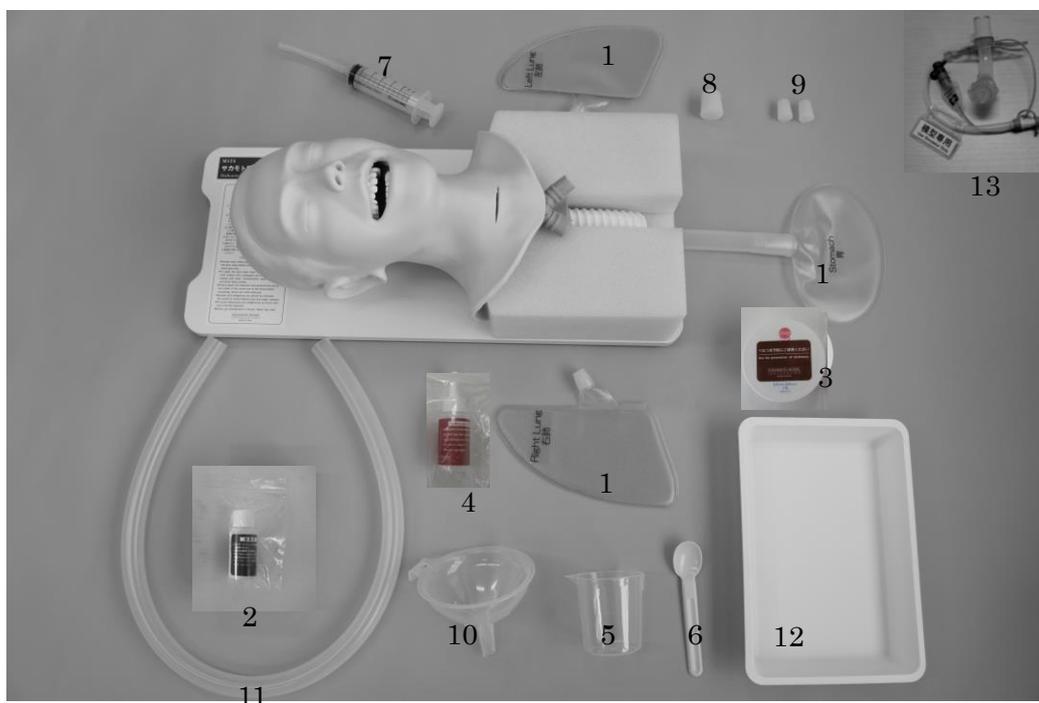
目的

下記の吸引実習が可能

- 1 経口・経鼻吸引
- 2 挿管チューブ内の吸引
- 3 気管切開カニューレ内の吸引

内容

1 本体（気管支・左右の肺 胃が含まれます）	7 チューブ付シリンジ	1 本
2 模擬痰	8 シリコンキャップ大	1 個
3 ベビーパウダー	9 シリコンキャップ小	2 個
4 専用潤滑剤	10 洗浄用ロート	1 個
5 模擬痰攪拌用容器	11 洗浄用チューブ	1 本
6 模擬痰攪拌用マドラー	12 トレー	1 個
	13 模擬気管カニューレ	1 個

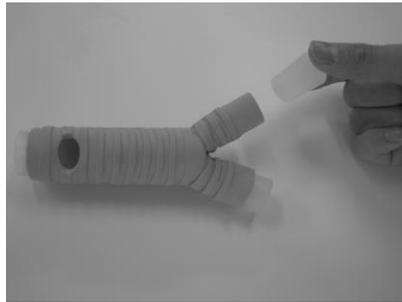


取扱上の注意

- 1 頭部に樹脂製品が長時間触れますと変形する恐れがありますので、ご使用には十分注意してください。また、頭部表皮は取り外しをしないでください。
- 2 頭部の材質上、汚れが付きやすいのでゴム手袋の着用をお薦めします。またボールペンやマジックなどの汚れは付着しますと取れなくなりますのでご注意ください。
- 3 頭部の軽い汚れは、中性洗剤を用いて洗うことができます。
(樹脂が溶けますのでシンナーを用いしないでください)
その後、水分をよくふき取りベビーパウダーを塗布してください。
- 4 カテーテル、チューブを本製品にご使用になられる際には付属の専用潤滑剤を塗布し使用してください。
- 5 付属の模擬痰は誤って飲み込まないようにご注意ください。
- 6 模擬痰使用後は本体及び容器を十分に洗浄・乾燥させてから保管してください。
- 7 付属の「**模擬気管カニューレ**」は人体には使用できません。
- 8 使用中異常を見つけられたら、すぐに使用を中止し弊社または販売店までご連絡ください。
- 9 本製品は高度な訓練を実現させたシミュレーターですが、実際の処置での同様の効果を保証するものではありません。
- 10 本製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

使用手順

- 1 本体をハードケースから出し、滑りにくい机などに置いて実習してください。
- 2 吸引実習時は、肺を外して付属のシリコンキャップ小を接続部に(2ヶ所)取り付けて実習してください。(痰流入防止のため)



- 3 模擬痰を作ります。(以下の「模擬痰の作り方」を参照。)
- 4 チューブ付シリンジで模擬痰を吸い出し、吸引実習したい部分に模擬痰を注入してください。
- 5 カテーテルやチューブをご使用になる場合は専用潤滑剤を塗布してください。
(気管切開カニューレは ID7.0~8.0、気管挿管チューブは ID7.0~8.0 に対応しています)
- 6 吸引実習を開始してください。
- 7 送気の際は、気管切開部にフタ等をしてご使用ください。
- 8 実習終了後は気管支を取り外して洗浄することが可能です。

模擬痰の作り方

- ① 付属の容器に水を 100ml 入れます。模擬痰を 10 振り入れ、付属のマドラーを用い、とろみがつくまでよくかき混ぜてください。
- ② もう 5 振り模擬痰を入れ、よくかき混ぜ、しばらく粘度が落ち着くまで様子を見ます。模擬痰(粉)の量を増減することで粘度を調節できます。

洗淨および片付けの方法

- 1 気管と胃を取り外し、甲状輪状軟骨部にシリコンキャップ（大）を、食道に洗淨用チューブを挿入してください。



- 2 『洗淨用チューブ』の先端を大きめのバケツかシンクの中にセットします。



- 3 本体の土台背面（頭部側）に青箱を置き、土台に角度をつけてください。
- 4 口腔内の模擬痰を吸引器で、できる限り吸い取ってください。
※吸引器がない場合はチューブ付シリンジを用いて模擬痰を取り除いてください。
- 5 チューブ付シリンジに水を入れ、口腔内に注入します。
※注入するときにマスクと頭骨の間に水が入り込まないように注意してください。また、水を注入しすぎると口腔内で水があふれる危険もありますので注意しながら注入してください。
- 6 模擬痰が十分に排出されるまで何度か繰り返してください。
※頬の奥などは取れにくい場所ですので、チューブ付シリンジにて狙いを定めて、水を注入してください。
- 7 洗淨後は水分をやさしく拭き取り、口腔内部を乾燥させてください。頭部にはべたつきを避けるため付属のベビーパウダーを塗布してください。
- 8 収納時に直射日光や、高温・多湿の場所に保管すると、変形・変質することがありますので注意してください。

株式会社坂本モデル



本社	〒606-0865 京都市左京区下鴨東高木町34
	Tel 075-701-1135
	Fax 075-722-5638
	URL http://sakamoto-model.co.jp
	E-Mail info@sakamoto-model.com

大阪工場	〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-9-29
------	------------------------------